

令和3年度 子ども読書ボランティア研修会

【趣 旨】

県内各地域の読書ボランティアや公共図書館および行政関係者等を対象に、読み聞かせ等による親子のふれあいをとおした家庭教育の重要性を啓発する「おうちで読書」事業の普及を図り、県域にわたる事業推進・協力体制を構築する機会とする。

また、読書ボランティアの活動の幅を広げ、質を高める機会とする。

【日 時】 令和3年11月16日(火) 13:30～16:00

【会 場】 滋賀県庁 東館 7階大会議室

【参加者】 76名(内訳:読書ボランティア、公共図書館・行政関係者ほか)

【内 容】 (1)「おうちで読書」推進事業の取組報告

(2) 講演

・演題:「絵本で豊かな子育て」

・講師:絵本専門士 玉置 理香 さん

〔(株) 十字屋所属音楽講師、幼稚園教諭

生涯学習音楽指導員

(3) グループ別情報交換

◆「おうちで読書」推進事業の取組報告

この事業は、主に幼児期～就学前の子どもをもつ保護者に対して、アウトリーチ型の啓発活動を行うことにより、「子どもの読書習慣を育むこと」と「家庭教育の基盤をつくること」を目的としています。多くの親子が集まる場所へ出向いて、読み聞かせブースを出展すること等をおし、幅広い親子へ「おうちで読書」を届けるきっかけづくりをしたいという思いのもと展開してきました。

「おうちで読書」推進事業の概要や、ブース出展の様子について担当課員より説明をさせていただいた後、「おうちで読書」推進委員から、「幼稚園の保育参観の後の時間を使って、読み聞かせブース出展を開催し、たくさんの親子に啓発ができた」ということや、「それぞれの市町で取り組みやすい形で取り組んでいけばよい」ということ等についてお話しいただきました。

◆講演(講師:玉置 理香さん)

玉置さんは、絵本を届けるための工夫や、子育てにおける読み聞かせの重要性などについて、これまでの御経験をもとに具体的に御教示くださいました。また、たくさんの絵本を会場に並べ、おすすめの本を紹介してくださいました。

参加者からは、「絵本の構造のお話は、初めて聞いたので、とても参考になりました。」「絵本からもらった力は、子どもだけでなく、大人も感動し、心休まる時間となることを学びました。自身が絵本を楽しみ、子どもに絵本を届けていきたいと思いました。」「絵本を読み合う時間は、親子がコミュニケーションをとる機会になることに気づかされました。」「たくさん素敵な絵本を



ご紹介いただきました。また、市内でも情報共有したいと思います。」「病気でつらかった時に幸せだった時の絵本を思い出したというお話は、絵本は幸せな時間の共有という講演内容とも通じ、心に残りました。」などの声が寄せられました。

◆グループ別情報交換

グループ別情報交換の場では、絵本の読み聞かせに関わる経験、コロナ禍における読み聞かせの現状、「おうちで読書」推進事業について感じておられること等について情報交換をしました。参加者からは、「様々な経験をされている方の絵本の読み方のポイントやコツを教えていただき、学びになりました。普段関わることのない方々のお話を聞くことができよかったです。」「新しい発見があり、これからの読書活動に活かしたいと思いました。」「こんなにも、子どもたちと関わるボランティアの方々がいることを知り、この良い活動を若い世代へと引き継いでいきたいと感じました。」などの声が寄せられました。

